

発 言 通 告 書

発言者氏名	永井真人
発言の会議	平成29年 9月 8日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

- 1 市長に就任した現在の率直な感想について

- 2 基本姿勢について
 - (1) どのような市役所を目指していきたいか、現在の市役所の足りない部分も含めて伺う。
 - (2) 市役所の先頭に立つ市長の意気込みを伺う。

- 3 横須賀復活計画について
 - (1) 横須賀の復活が具体的に何を指すのか伺う。
 - (2) 市長が市民の支持を得たのは横須賀の復活という目標に共感を得たからだと思えるか伺う。

- 4 基本方針について
 - (1) 何をもって横須賀のまちが衰退してしまったと断じているのか市長の認識を伺う。

- (2) 本市の現在の財政状況について市長の認識を伺う。
- (3) どのように積極投資する市政へと転換していくのか伺う。
- (4) これまでの行財政改革の評価と今後の課題について伺う。
- (5) 大胆な行財政改革を断行する考えがあるか伺う。
- (6) 今後の数値目標とそれを実現させるための具体的方策について伺う。

5 横須賀復活のための3つの構想について

- (1) 海に囲まれたアドバンテージをどうまちづくりに生かしていくのか伺う。
- (2) 海洋都市構想が横須賀の復活にどうつながるのか伺う。
- (3) 音楽・スポーツ・エンターテイメント都市構想において、各種フェスティバルや大規模スポーツ大会の誘致などに向けた、市としての体制づくりをどのようにしていくのか伺う。
- (4) 谷戸再生構想は谷戸地域の構想なのか、全市的な構想なのか伺う。
- (5) 「谷戸公社」を立ち上げるプランは谷戸再生構想に含まれるか伺う。

6 横須賀復活の4つの計画について

- (1) 4つの計画と3つの構想との相関関係について伺う。
- (2) 国道357号の延伸について、どのように動いていくつもりか伺う。
- (3) 久里浜港の物流拠点としての将来像がどういったものなのか伺う。
- (4) 中心市街地などの再開発について、それぞれの協議会が示す基本計画をどのように後押しされるのか伺う。

- (5) 事業所と従業者の減少についての市長の認識と改善への意気込みについて伺う。
- (6) アドバイザー制度、融資制度及び人材紹介制度で事業所と従業者の著しい減少を食い止めることができるのか伺う。
- (7) 市長が考える賑わいの復活とはどのような状態なのか伺う。
- (8) 何度も訪れたいくなるまち横須賀の魅力を引き出すストーリーとは具体的に何か伺う。
- (9) 子どもの教育について市長の思いを伺う。
- (10) 幼稚園・保育園の段階的無償化について、どのように財源を充てていくつもりか伺う。
- (11) 学力向上にどのように取り組んでいくのか伺う。
- (12) 放課後児童クラブの問題点を解決する方策の実現性について伺う。
- (13) 同クラブへの市役所のかかわりを深めていくとは具体的にどのようなことを考えているのか伺う。
- (14) 小児医療費助成の拡大について、財源はどのように捻出するのか伺う。
- (15) コミュニティバスの導入について、どのような具体的方策を考えているのか伺う。
- (16) 福祉施設や保育園で働く方々へどのような支援をしていく考えか伺う。
- (17) 福祉の現場の課題にはどのようなものがあると認識されているか、またそれは介護ロボットの導入で解決できるものと考えているのか伺う。

7 復活計画と総合計画との関係について

- (1) 過去の市政運営について具体的にどのような分野にどういった予算配分が足りなかったのか、市長の分析を伺う。

- (2) (仮称)横須賀再興プランについて、具体的な施策が書き込まれた計画になるのか伺う。
- (3) (仮称)横須賀再興プランはどのような位置づけの計画になるのか、議決案件になるのか伺う。

8 ファシリティマネジメントの推進について

- (1) 人口減少に合わせて、多過ぎる施設の統廃合を行っていくという認識なのか、それとも施設の適正化を一旦凍結するのは人口減少を食いとめるという意気込みのあらわれなのか伺う。
- (2) 現行の施設配置適正化計画を凍結することだが、施設分野別実施計画も含めてゼロベースで考えるということなのか伺う。
- (3) 市民の意見や視点を取り入れていくプロセスについてどのようにお考えか伺う。

9 基地について

- (1) 日本の安全保障体制は実際のリスクや国際情勢を考慮したりアリズムに基づいて維持されているというお考えか、市長の認識を伺う。
- (2) 自衛隊、米海軍関係者との関係構築によって具体的にどのような方策、課題解決を目指していくつもりなのか伺う。
- (3) 国際情勢に合わせて増大する市民の不安に対してどのように応えていくつもりなのか伺う。
- (4) 地域振興策も含め、言うべきことは言い、求めるべきものはしっかり求めていくとは具体的にどのようなことなのか伺う。

10 目指すものは「誰も一人にさせないまち」について

- (1) 最終的な目標は問題や課題の解決そのものに置くべきと思うが市長の認識を伺う。

- (2) 日々課題と向き合っている職員の働きに対してどのように感じているか伺う。
- (3) 市長は何に対して協調と連帯を求めているのか、協調と連帯が図られたまちとはどのようなまちなのか伺う。
- (4) ご当地ナンバーになると、どのような「協調と連帯」が生まれ、どのようにまちづくりに生かされるとお考えか伺う。
- (5) 市長の考える「協調と連帯」とは横須賀市域だけのことを念頭に考えているか伺う。